

ACE

Azure Council Experts

00 Index

【目次】

	<ページ番号>
◇01 ACE概要	1
◇02 ACE設立背景	2
◇03 ACE設立趣旨	3
◇04 ACEビジョン	6
◇05 ACEミッション	7
◇06 ACE活動骨子	8
◇07 ACE加盟メリット	9
◇08 ACE理事・監査・事務局	10
◇09 ACE組織図	11
◇10 ACE運営について	12
◇11 ACE会員入会・退会について	15
◇12 ACE活動内容	16

01 概要

ACE

Azure Council Experts

名称 : Azure Council Experts
略称 : ACE (エース)

02 設立の背景

【ACE設立の背景】

Azureのパートナーが一つのバーチャルカンパニーとして活動するとき その人材開発機能と広報活動を担う

企業・団体におけるクラウドへの目線は、今やその導入可否ではなく、「どのクラウドの、どんなサービスを活用するか」に移行しつつある。Azureに対するニーズも、今後ますます多様化しながら高度化していくことは間違いなく、こうした期待に応えていけば、Azureの価値を最大化し、新たな価値創造にもつながる。そのための施策を効率的かつ効果的に後押しするため、Azureの利用促進を担うパートナー各社による連携が求められている。

コミュニティ形成の重要性

現状ゆるやかにつながるネット上のコミュニティは生かしつつ、コミュニティのハブとなる機能を目指す

03 設立趣旨

【ACE設立趣旨①】

Azureに関わるあらゆる企業・団体の成長に寄与

企業活動におけるクラウド化の定着・進行に伴い、Azureに対する企業・団体（クライアント）からの期待は今後ますます高まっていくと予想される。クライアントニーズをいち早くくみ取り、迅速かつ的確に応えることは、Azureの新たな価値をも創造し、クラウドをめぐるビジネス機会を創出。ひいてはクラウド市場全体の底上げにつながり、クライアントにとどまらない、Azureに関わるあらゆる企業・団体の成長を後押しすることとなる。

その一方で、クラウドをめぐる競争はプロバイダー間においてもますます熾烈を極めており、従来にも増して高水準のサービスが求められていることを考慮する必要がある。Azureの利用促進を担うパートナー同士が連携することで、サービスとしてのAzureの高度な価値創造に向けた施策を、質・量の両面にわたって、戦略的かつ効率的に推し進めることが可能となる。

ACEでは、Azureに関わるあらゆる企業・団体の成長に向けた施策を大所高所から講じていき、前述したAzureの成長・進化のけん引役としての役割を果たしていく。

03 設立趣旨

【ACE設立趣旨②】

情報・ノウハウ共有、人材の育成によるAzureの競争力強化

技術革新は日進月歩で進化している。あらゆるサービスにおいてクライアントニーズの多様化に呼応したさまざまな機能やサポートが求められているが、とりわけクラウドサービスでは、2013年から企業・団体が本格的な環境整備へ大きく舵を切るとみられており、幅広い知識と技術に裏打ちされたエキスパートによるサービス提供体制の構築が急務となっている。

ところが、Azureをめぐるパートナーにより取り扱うサービスの得手不得手が散見されるほか、Microsoft Azure開発者の不足といった課題があることも事実。また、グローバルに展開中のAzureのサービス特性から、日本以外での運用環境等の情報収集も今後強く求められることが予想される。

日本におけるAzureのパートナー各社の横の連携を図る母体であるACEでは、こうした諸課題克服に向けて、相互の競争を阻害しない範囲で、技術ドキュメンツや設計におけるデザインパターン、サンプルコードといった情報やノウハウを共有したり、開発者を中心としたエキスパートの育成にも協力して取り組む環境を整備。長期的な観点からAzureの価値向上につながる施策実行組織として運営する。

03 設立趣旨

【ACE設立趣旨③】

集約意見をMicrosoftへフィードバック、提案、要望

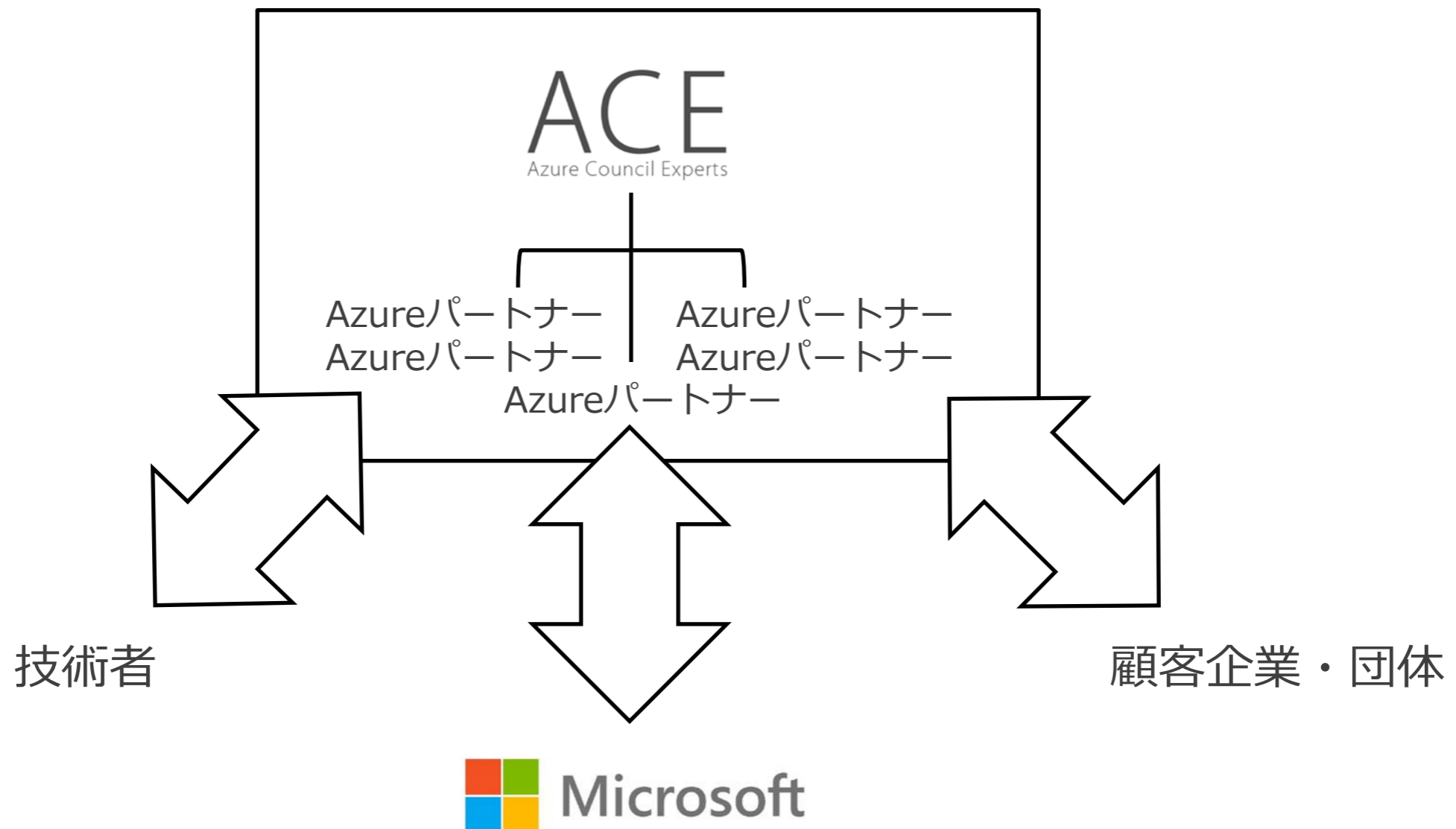
Azureユーザーとの接点となるパートナー各社には、“現場発”のさまざまな要望や意見、疑問点などが寄せられるが、ややもすればこうした生の声が埋もれてしまうケースはないか。1社単独でMicrosoft（MS）に提案することが難しかったり、局所的な些細な指摘等とみなされプライオリティが低かったりと、その理由はさまざまだが、ACEとして意見や要望を集約することで、MSへのフィードバック機能を強化することができる。

さらにフィードバックを受けたMS側からの支援やサポート向上が期待でき、こうした「逆フィードバック」をACEとしてタイムリーに受ける体制を整えることで、MSとの密接なパートナーシップ構築につなげるほか、集約された情報の共有や新規開発・改善に向けた材料を蓄積することによる、さらなるAzureサービスのクオリティアップにもつなげる。

04 Vision

【ACEビジョン】

Azureの利用促進を担うパートナー各社の連携を通じて、Azureのサービスとしての新たな価値を創造し、そこに関わるあらゆる企業・団体に成長をもたらしていく。



05 Mission

【ACEミッション】

ACEの活動に当たっては、下記のミッションを掲げ、Azureビジネスの発展に取り組んでいく。

1. 大所高所の視点で連携していくことで、Azureビジネスに関わるあらゆる企業・団体の成長を目指す。
2. パートナー各社の“声”を集約し、MSにフィードバックによることにより、Azureの品質改善・高度化をさらに進める。
3. 技術とノウハウの共有を通じて、さらなるサービスの向上を図るとともに、多様化するニーズに対応する。
4. 高度な専門知識・スキルを有する人材を育成し、確かな技術に裏打ちされた開発スキームの標準化等につなげる。
5. 海外のパートナー企業・団体との交流促進・情報共有によるサービスのグローバル化に対応する。

06 活動骨子

【ACE活動骨子】

1. 開発・制作環境の整備

Azureの開発・制作環境整備に要する各種フォーマットを策定。高精度のリファレンスマテリアルを提供する。

2. エキスパートの育成

開発はもとより、サポートやセールスなど、Azureの利用促進を担うあらゆる分野の「ヒト」を育成。今後さらに加速するAzureの“進化”に対応し得るエキスパートを輩出する母体となる。

- a. コミュニケーション強化 → 人材交流を通じて情報交換、相互連携、スキルアップなどを促進
- b. 技術共有や共同研究 → 技術者交流を通じて先進的な技術研究やアップデートなどにいち早く対応

3. 人材の発掘

セミナーや勉強会、アワードなど、開発分野を中心とした人材のモチベーションアップに向けた枠組みを積極的に活用。優秀な人材を発掘し、業界全体のスキル向上に寄与する。

4. 効率化・スピードアップに向けた費用分担

共同出資や共同所有など、ケースに応じて、会員同士が費用を分担するさまざまな仕組みを取り入れ、Azureビジネスの効率的なマネジメントや開発スピードのアップを図る。

07 加盟メリット

【ACE加盟メリット】

- 1. ノウハウ共有による業務の高度化・効率化、人材確保**

ジャンルによりパートナー間でバラつきもあるAzureに関する各種ノウハウを共有することで標準化。相乗効果による高度化や効率性の向上、人材育成・確保につなげることが期待できる。
- 2. 新たなビジネス機会の創出**

パートナー同士の相互補完により、単独では対応できなかったニーズのソリューションを吸収。従来の発想にとどまらない新たなサービスによる需要開拓の可能性が広がる。
- 3. 障害等データセンター緊急情報の早期共有**

現場が把握したトラブルは、“大本営発表”に先駆けて共有。迅速な処理により被害を最小限にとどめ、顧客満足度の逸失を防止する。
- 4. 個人活動の権威付け**

ややもすれば軽視されがちな“個”の活動を、団体として積極的にバックアップ。小さな取り組みを大きな成果につなげる機運を大切にしていく。
- 5. 各種イベントへの参加**

業界全体のスキル向上を目的としたセミナーやアワードなどに積極的に参加していくことで企業（団体）はもとより、開発者個人のレベルやモチベーションアップなどにつなげる。
- 6. 業界経営者勉強会などを通じたネットワーク拡大、情報交換**

マネジメントクラスの交流を促進。ネットワークを拡大できます。経営的な視点で意見・情報交換することで既成概念にとらわれない新たな経営感覚が身につく。

08 理事・監査・事務局

【ACE理事・監査・事務局】

◇代表理事

松岡 清一 (株式会社FIXER 代表取締役社長)

◇理事

小杉 智 (株式会社ネクストスケープ 代表取締役社長)

小浦 文勝 (株式会社インテリジェンスビジネスソリューション)

◇監査

堀井 秀憲 (株式会社インテリジェンスビジネスソリューション 執行役員)

◇事務局

田鎖 美穂 (株式会社FIXER)

岡野 里美 (株式会社FIXER)

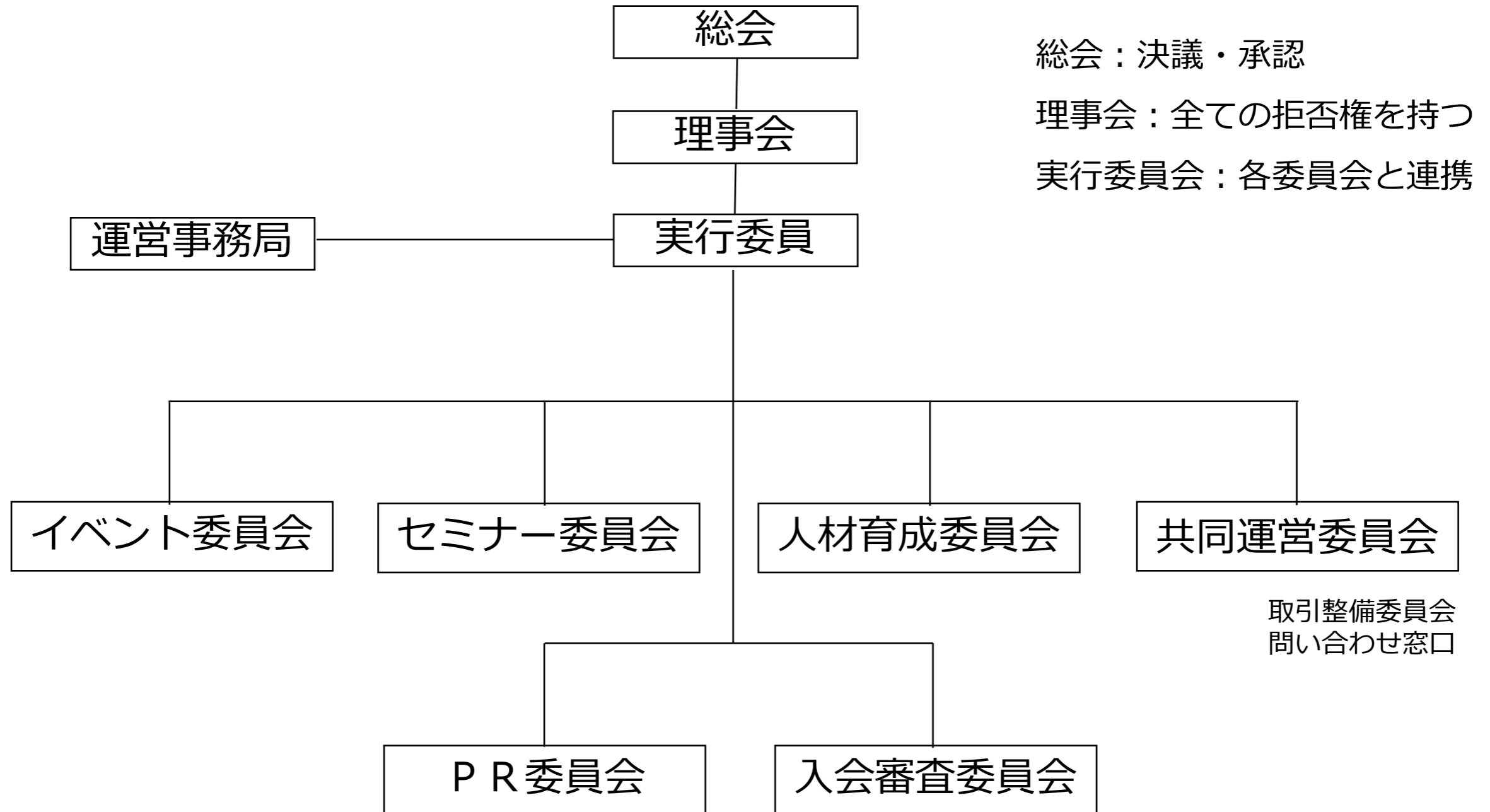
[選出方法] 理事会にて選出

[役員任期] 役員任期は、就任後第2年目の通常総会の終結時までとする。再任あり。

[報酬] 役員は無報酬とする。

09 組織図

【ACE組織図】



10 運営について

【ACE運営について ① 会員の役割・会費】

会員区分	理事会員	一般会員	賛助会員
役割	運営	参加	協賛
会費	年額 30万円	年額 10万円	年額5万円／1口

ACEの理念に賛同いただける法人会員を募集

※入会については、理事会による審査を実施

※活動開始から1年で20社の加盟を目標とする



10 運営について

【ACE運営について ② 会員権利及び義務】

項目	詳細	理事会	一般会員	賛助会員
会合	総会への参加（年1回）	○	○	×
	理事会への参加	○	×	×
	定例会への参加	○	○	×
会員名簿	会員名簿への記載	○	○	○
セミナー	技術セミナーの運営	○	△	×
	技術セミナーへの参加	○	○	○
出版	技術本出版及び執筆の斡旋	○	△	×
	技術本の配布（各社1冊）	○	○	○
イベント	ACEブース出展	○	△	×
	ACEブースにて参加企業のパンフ配布	○	○	○
交流会	懇親会（定例会後）	○	○	○
メールマガジン	メールマガジン発行	○	×	×
	メールマガジン購読	○	○	○
ホームページ	一般公開サイト（情報発信）運用	○	×	×
	一般公開サイト（情報発信）	○	○	○
	会員向けサイト（緊急時情報共有等）	○	○	○
委員会	委員会の設立	○	×	×
	委員会の運営	○	○	×

10 運営について

【ACE運営について ③ 通常総会・理事会】

【通常総会】

通常総会は毎年活動年度終了後2ヶ月以内に開催する。

代表理事が召集し、議長は代表理事が担う。

- ・ 年1回：活動年度終了後2ヶ月以内に実施
- ・ 議題：規約の改定／役員任免／実行委員会の活動報告／会計報告等

【理事会】

理事会は必要に応じて開催する。

代表理事が召集する。

1 1 会員入会・退会について

【ACE会員入会・退会について】

【対象】

本会の趣旨に賛同して参加を希望し、Azure関連事業を継続的に営む法人または団体が対象。

【入会方法】

所定の入会申込書による手続きと、理事会の承認を得て会員となる。

会員は、会員代表者を1名入会時に届け出る。

【入会の選定】

理事会にて討議し決定する。

※Azureの論理的理解と開発経験（受賞実績や開発実績等を考慮）

【ACE会員の退会】

会員は、1ヶ月前までに理事会に書面によって届け出て、本会を退会することができる。

※本会の名誉を毀損、会費の滞納等の規約に反する行為があった場合は

理事会の決議により除名することがある。

※一旦納入された会費は返金しない。

12 活動内容

【ACE活動内容】

Azure技術セッション



Microsoft テクノロジストによる
Azureアップデート情報セミナー



ワーキンググループでの
Azureパネルディスカッション



ACEメンバー、マイクロソフト社員、AzureパートナーによるACE懇親会『Azuring!』

書籍の出版

